婦人はどう考えているか

◇主婦の立場・母の立場◇

先般、向日町婦人会員八九三名について、生活の実態調査を行いました。その主な項目は①教養について、どのような関心と時間をもっているか。②自己に対してどのような、自信、幸福感、悩みをもっているか。③子どものしつけ教育について、どのような態度をとっているか。④家庭の悩みや問題点はどのようなことか。⑤近隣や部落の風習について、改善の必要があるのは、どのようなことか。⑥自己の悩みや不満についてなど六つの観点について、二五項目の質問をいたしました。そのいくつかの回答をここに抄録しておくります。——

（総務事務局）

自信や幸福感はまだ遠い

「あなたは、自分をふりかえってみて、自分自身をつまらない人間だと思うことがありますか」の問に対して「たびたびある」というのが三二%で、全体の三分の一をしめています。婦人が生活に対して安定した気持をもっていないということの数字は、まず憂慮すべきことです。

忙がしい、自分の時間がもてない、家庭の円満や子どもの成長にも、なにかと悩みや問題が多い。世間の批評や慣性の習慣的な行事にさえも気をつかわずにはいられない。自分のための、教養や趣味のための、自由な時間も豊かな生活ではある。時に生活を味わうような、ひとときさえ思うように得られないし、そくばくされた気持の迫われるような生活である。このような現実の婦人の生活が、生活に対する自信や幸福感をうばってしまうのでしょうか。婦人が追従していく生活から、自分を強いていく生活に、不合理に流れていく生活から改善していく生活に、主体的な生活設計を、主婦の手で、母の手で、切り拓いていくことが必要なのです。悩みの訴えとともに、手をつなごうとする気運がようやくみられるのはうれしいことです。大きくいえば婦人の生活の開放なのです。合理化なのです。こうして婦人自身の生活改善によって、はじめて生活に対する自信や幸福感をよびもどすことができるといってよいのです。

家庭への願いは円満でありたい

「あなたは、くらしを考えてみて、次にあげるどれが一ばんあなたの気持に近いものですか。」の問に一番多いのは「家庭のものが助けあって、円満にくらしていきたい」で、四〇%をしめています。よく働いて、くらしを豊かにしたい、自分の趣味にあった生活をしたい、というのはそれぞれ、一五%で、すっと少なくなっています。

7. あなたは、自分をふりかえってみて、自分自身をつまらない人間だと、思うことがありますか。
0% 20% 40% 60%
イ、たびたびある。
ロ、たまにある。
ハ、一度もない。

ついで「あなたは家庭で一ばん楽しい時は、どんなときですか」の問に対して「みんながよく協力して、しごとがよくはかどったとき」が三四%、「子どもがよくきき わけてやってくれるとき」が二七%、「親や祖父母の間が円満にいくとき、父親の理解があるとき」が三%となっています。これをみても、家庭の円満についての願いが、どんなに大きいものであるかをみられます。またそれだけに悩みや問題が多いことを示しているともいえます。

お互の立場をよく理解しあって親と子が、父と母が、協力してやっていく家庭生活は、民主的な人間関係に立っての個しあいでなければ育っていかないのです。まことに、お互の立場をみとめあって協力しあう家庭の円満は、ほんとうの楽しい生活の基ばんといってよいでしょう。主婦として、母として、最大の願いであるのも、よくうなずけることです。

子どものことに悩みは大きい

「あなたは家庭生活で、とくに気を配っていられるのは、どんなことですか」に対して、「経済的にうまくやっていくこと」が三八%、「子どもの教育、しつけのこと」が三三%、「親子関係が円満にうまくいくこと」が二二%、となっています。

家庭の経済的な気くばりは、家庭としてもとりのことですが、子どもの教育やしつけの問題が、このような%をしめていることは母として子どもへの願い、悩み、よろこびがどんなに切実なものであるかを、みることができます。親子関係の円満ということの中にも、しつけ教育の分野が抜かりをもっていることはいうまでもありません。

9. あなたは、くらしを考えてみて、次にあげるどれが一ばんあなたの気持に近いものですか。
0% 20% 40% 60%
イ、よく働いて、くらしを豊かにしたい。
ロ、お金のことばかり考えないで、自分の趣味にあった生活をしたい。
ハ、その日その日をのんきに、くよくよしないでくらしたい。
ニ、家庭のものが助けあって、円満にくらしていきたい。
ホ、正しくないことを押しのけて、社会のためにつくしたい。
ヘ、信仰によって、毎日をおちついて、くらしていきたい。

ついで、婦人学級や講座についての希望をきいてみますと「あなたは、婦人学級や講座などで、どんな学習項目をとりあげてほしいと思いますか」に対して、「子どものしつけや教育について」が四〇%、「婦人の一般教養について」が、三〇%となっています。その他「政治や経済の問題について」「衣食住など生活改善について」「保健衛生について」「社会問題や時事問題について」は意外に少なく、合せて三〇%となっており、どんなに子どもの問題に関心と悩みが多いかを語ってくれます。

さらに「あなたは、子どものしつけ教育について、とくに気をつかっていられるのは、どんなことですか」の問に対して、「子どもの行いや性質のこと」が四八%をしめています。つぎが「子どもの健康のこと」で三三%、「子どもの成績（勉強）のこと」一一%の順位です。子どもの教育において、どのようにしつけ教育をするかについての子どもの悩みが、とくに多いことは考えさせられることです。

14. あなたは、子どものしつけ教育について、とくに気をつかっていられるのは、次のどれですか。
0% 20% 40% 60%
イ、子どもの成績（勉強）のこと。
ロ、子どもの行いや性質のこと。
ハ、子どもの健康のこと。
ニ、近所の遊び友だちのこと。
ホ、学校（学級）での問題について。

近隣や部落には気をつかう

近隣の生活環境はどうでしょうか。どんなに気をつかっているかについて、「あなたは、近所や部落の人たちのことで、よくないと思うことや、困っていることがありますか」の問に対して「つまらないうわさや、よくいいはやすいうわさを、よくいいはやす」が三二%あります。その他「よくわるくちやいじわるをいう」つきあいの上でむだな費用をよく使う」などが、それぞれ八%から一〇%程度でています。「よくないと思うことや困っていることはない」というのが、三四%になっているのをみても、約六五%の人が、なにかについてわずらわしい近隣関係を感じ抱いているようです。明かるい人間関係が、まず近隣社会に育って、精神的にも住みよい地域を育てたいものです。

家庭の人間関係に悩みが深い

婦人の悩みのもっとも切なものは、家庭の雰囲気です。そのうち家庭の悩みの中心は、まず親子関係にあるようです。親と意見があわないという問題です。生活の上での意見の相違、子どものしつけ教育についての考え方の相違、宗教や趣味の理解がない、外出さえも気がねして自由にならないなど、とくに若い主婦の願いが胸をつきます。不平不満をあまりききたくない、自分の時間を少しでももちたい、家庭のことを話し合っていくようにしたいなどは、自分の参加のできる生活のもち方についての願いです。願いと悩みのようです。

ついで、主人の理解がほしいという願いです。夫は自分の意思はかりをとおそうとする、PTAや婦人会に出席したり、雪国としての責任をはたそうとするのをよこはない、などは多い例ではないようですが、考えさせることです。

ついでここでもまた、子どもの問題がとりあげられています。子どものしつけに困っている、親用がかまいすぎる、勉強ができないということをきかない、反抗する、気力がない、わがままであるなど子どもの性質行動についての問題です。

つぎに余暇がほしい、という願いです。働くだけではつまらないまた子どもに必要な時間、教養のための時間、読書したり、婦人会へ出たりする時間がほしいという当然の欲求です。家庭の事情にもよるでしょうけれど、生活の工夫を考えなおしてみることは、だれにとっても大切な問題といえます。

近隣関係がわずらわしいという訴えはここにもあらわれて、かげ口、わる口、うわさ、立話など、風習の改善がとりあげられています。明かるい問題がながれて、人間関係が明かるく結ばれるよう、地域の問題はみのがすことはできません。

新しい教養を求めている

「あなたは余暇をどんなに利用していますか」「あなたは婦人学級をどのようにすすめたらよいと思いますか」など、いくつかの問に対して、「講師を中心として、講話と質問を交えての話合いをする」が、五二%、グループをつくっての問題の話合いをするが二〇%、懇談会や同好者のグループでの話合いが一五%となっており、教養実践の習得に向上したいという考えがあらわれています。余暇の利用では「読書したり、ラジオをきいたりして向上につとめる」が、三〇%、「学級会議やPTAの会、婦人学級や講座などに出席する」が、二八%となっています。いそがしい家事にあって、できるだけの努力をしようとする婦人の姿です。

しかし全般的にいって、一部の人たちに限られているようですが、求めての気持は、たしかに新しくなっていく時代の呼吸をしみじみと感じられているようです。家庭生活の惰性とそくばく、忙がしさと健康の保持、求めている気持のあまりにもはしいという現実でもあります。実態調査はその多くの悩みの実態を教えてくれております。主婦としてまた母としての、このような多くの問題点は、けっきょく、婦人がもっと主体性をもって、個人として高まっていく、くらしの工夫、意欲の増進に眼を開いていくことが必要なことなのです。

被害や事故のない歳末を

警察からのお願い

今年もいよいよ押しつまって町中がせわしくなり、新聞を賑わしても乱なまぐさい事件やいやな記事の記事がのるようになりました。向日町署も、警戒が楽しい正月を迎えていただくように厳重な年末警戒対策をたて、すでに去る一日より実施しており、特に今年は夜の警戒態勢を強化して犯罪の増やして、防犯の徹底を期することとしました。

皆様方御自身においてもこの際にまず家の中を改めてみて戸締は、火の元は大丈夫か、懐中ものはどうかと、自ら配ってみましょう。

そして若しも被害にかかったときは、現場はそのままにして、見込みせずに一時も早く届けでましょう。最近とかく関係者の方が「災難」をして、届出を渋られるために、すぐにでも検挙できるわれています。余暇犯人を目の前に控きながら解決できないことがありますので、証拠の提供、犯人へと海外逃亡、警察の立場を理解していただき、みなさんの御協力で住みよい地の良い、町の建設のために早く届出をお願いいたします。

なこのたび警察署や駐在所で、犯人を取扱うことになりましたので、どんなことでも御相談において下さって御利用ください。

例えば、紛失の期間が過ぎたのに引続き刊行物を配布して来る者、身近な困りごとであっても結構です。

警察は皆さんが本当に困っておられることを取除いて、明るい町を築きたいと努力しておりますからこの上とも御協力をお願いいたします。

向日町警察署より

「困りごと相談」

是非読みましょう

向日町農協ニュースを

◇農家の收入はみなさんの農協へ

農協がこの八月から貯金者へのサービスとして、定期貯金の利息を銀行の利息よりも一厘高く支払っております。

定期は一口百円以上で期間は三ケ月、六ケ月、一ケ年の三種類です。農家の皆さんだけでなく町内の皆さんからも協力を願い今期十一月末日現在八百万円の増加となりました。

この際供米代金・ボーナスの余剰金は是非農協定期貯金にお願いします。農協定期はエスカレーターと同じです、元金に利息がつき利息に利息がついてだんだん高くあがって行きます、エスカレーター貯金を是非お利用下さい。

◇知っていますか共済制度

御存知ですか皆さんから寄んで頂いております、生命共済・建物厚生共済事業を詳しくいいますと

（一）おちいさんやおばあさんになった時の養老年金の為の生命共済。

（二）可愛い娘さん息子さんの結婚資金への共済貯金。

（三）これからの子供は少なくとも高等教育を受けなければ文化生活に負けますから小学校のときから教育資金としての共済貯金。

（四）これからの農業は総て機械化経営で増收と高收益をあげなければ落伍者となります。少ない人数で農業経営を解決するには、耕運機一台あれば総てオートメーション式に作業が出来ます。機械購入貯金としての共済資金。

一家揃って皆さんの心掛け一つで供米二俵分共済貯金に加入すれば三年目から配当がついて掛金も減って来ますし生命も火災も保証され掛金を民間保険会社よりも安く満期になった時の手続も至極簡単で絶対安全です、掛金は供米代金、ビール代金、菊代金の入った時に知らず知らずに貯金が出来て皆さんから既に二千百万円加入願いました、農協の十周年記念事業として十二月末日迄に五百万円、向明年三月迄募集致します、農家非農家をとわず一家に一口是非共済貯金の加入を御願いします。

◇購買部の御利用を

農協が岡山県から寄託取引しております上敷が入荷致しました。種類は八畳・六畳・四畳半・四畳二畳・一畳と全部揃えております値段は一畳に付二三五円の大安売で御一緒下されば配達しますからお正月用に是非御利用ください。

砂糖は皆さんへのサービスとして半内一斤百八九円、中白八八円で販売しております。

◇蔬菜栽培者に親切な相談

何時も新鮮な蔬菜、美しい花を栽培される方に農協は親切にわかりやすく御相談に応じ肥料や種子を御入用だけ販売しております。

農協は皆に組合員の立場に立って技術の指導に、生産物の販売と必需品の購入に日夜努力し役職員一丸となって皆様の御期待にそうよう勉強します事を紙上を以てお誓いします。

（向日町農協・井上）

行政苦情の相談は京都地方行政監察局へ

行政苦情相談とは役所の仕事について納得のいかないようなとき、行政苦情相談所に申出て相談の上解決して貰うことです。

京都地方行政監察局では、この行政苦情相談を踏まえて無料で相談に応じて居りますから、例えば農地の買上代金支払が遅れている。電話の架設を申込んだのになかなか架設してくれない、保険金の支払いが遅れている、補助金の交付が不公平である等々官庁や府市町村で行われている国の事務でお困りのことがありましたら何でも遠慮なく申出て下さい。

ただし民事、刑事に関するものや地方公共団体の固有の事務については除かれています。

◇窓口は◇

行政相談局・京都地方行政監察局京都市中京区御池通り西洞院東入石橋町（電話本局②五七〇番）

十二月三十一日現在施行

昭和三二年工業統計中小企業綜合基本調査

◇調査の対象になります事業所の皆様方の御協力をお願い致します。

総務課統計係